

## 東 部 台 地 区

開 催 日：平成30年5月14日（月）

開催場所：東部台コミュニティセンター

参加議員：阿部秀実、館野裕昭、谷中恵子、津久井健吉、船生哲夫

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
西茂呂3丁目	かぬま魅力向上特別委員会について、第3回委員会が秘密会で開催されたため情報公開請求をしたところ、議事録が黒塗りになっていたが、条例に反するのではないかと傍聴人も退室を求められた。秘密会の撤回と謝罪を求める。	議論の過程で、各委員の様々な意見や考えがあったことから、誤解が生じないように、委員会としての方向性をある程度決めてから公開することが望ましいという判断をしました。その後は公開していますので、ご理解ください。
幸町1丁目	J R 鹿沼駅東側の工事について、進捗状況を知りたい。	東部台地区をはじめ、多くの市民の皆様から、早く進めて欲しいとの意見をいただいているところです。3月に古峰が原街道宮通りの県道が開通しました。この県道整備にあわせ、第1工区の部分100メートルの整備が完了しました。第2工区の540メートルと、第3工区の370メートルの計画が進められますが、用地取得のための地権者との交渉なども進行中です。第2工区の工期は平成36年としていますが、現段階では完成時期について予算立てなども含め明らかになっていない状況であり、議会からも早期工事に向けて、何度も要望をしているところです。また、第2工区の計画では、この道路から駅につながる道路と駅東側広場、駅西側への自由連絡通路も計画されてい

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		ます。工事計画の進行を早めるよう、市に求めています。
幸町 1 丁目	第 3 工区は住宅が多くあり、用地取得など交渉は困難だと思いが、第 2 工区は畑なども多く、既に計画の線も引かれている。それなのに進行が遅い。早急に進めて行くことが鹿沼市の人口減少対策になるのではないか。議会としても執行部に対し、明確なスケジュールを出させるなど、もっと強く言うべき。	この整備計画は、市の単独ではなく、県、国からの補助金と連動して進められています。この仕組みが、議会から要望をしても事業が進まない原因となっています。県議会議員、国会議員への要望も含め、今後さらに強く求めています。
西茂呂 3 丁目	議会改革特別委員会について、市民の声を反映する議会改革を進めて欲しい。他の自治体では若者議会と称して、一定の予算枠を設け、議会形式の議論をして事業を計画するといったことに取り組んでいる。議会は平日の昼間に開かれているが、広く市民に傍聴し、関心を持ってもらうために、仕事や学校が休みの土日に開催してはどうか。	議会改革には、いろいろな議題があります。広く市民に傍聴してもらうために、夜間や土日に開催した地方議会もありましたが、今は平日に戻したという議会もあります。鹿沼市では、鹿沼ケーブルテレビ本会議が放映されており、昼も夜も視聴が可能です。いろいろな意見がありますが、議会改革特別委員会の課題として取り組んでいきます。
西茂呂 3 丁目	少子高齢化に対して、子どもの対策は充実している。東部台地区は 1970 年代に発展してきた町であることから、70 歳代前後の人口が増えている。高齢化対策についても充実をお願いしたい。	議会から執行部に伝えていきます。
幸町 1 丁目	高齢化対策について、東部台地区も地域包括支援センターが開設された。私たちはこの地域包括支援センターの中に、デマンド交通を構築させたい	文教民生常任委員会としては、公共交通のあり方などを調査研究しています。リーバスの採算性や走るコースの見直しなど、様々な角度から調査もし

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>と考えている。現在はリーバスが地域内を走っており、デマンド交通はないが、今後の高齢化が進むことを踏まえ、「ドア・トゥ・ドア」が可能なデマンド交通システムを構築させたいと考えている。現在のリーバスの年間予算と採算性など、議会においても今後の交通システムのあり方を考えて欲しい。</p>	<p>ています。貴重な意見をいただきましたので、課題として取り入れていきます。</p>
西茂呂3丁目	<p>新庁舎整備について、議会の新庁舎整備検討特別委員会では、中間報告は出されたが、最終報告が出ていないので出してもらいたい。</p> <p>また、鹿沼市ではコンサートなどの発表できる場所が限られているので、新庁舎内のホールや議場を市民が利用できるホールとして活用できるようにして欲しい。</p>	<p>新庁舎整備検討特別委員会は、建設場所といった議論の入口で議会の総意をまとめることが困難となり、3月の議会で廃止となりました。そのため、中間報告はしましたが、最終報告はいたしません。議会では各党派で新庁舎と議会棟に対しての要望書を市に提出することになりました。これからその作業に入りますので、検討材料として伺っておきたいと思えます。</p>
緑町1丁目	<p>鹿沼市のまちづくりについて、鹿沼の観光PRが弱いのではないかと。彫刻屋台や自然など、良いものがたくさんある。東部台のふれあい桜まつりでは、参加者からまつりを観て、「鹿沼に移住して良かった。」という意見ももらった。もっと鹿沼市の観光PRをすることで、移住定住人口が増えて行くのでは。議会としても頑張ってもらいたい。</p>	<p>人口減少対策の一つとしても、鹿沼の魅力を内外にPRしていくことは大切なことだと思います。議会での取組や執行部への働き掛けをしっかりと進めていきたいと思えます。</p>
栄町1丁目	<p>鹿沼市の観光PRが、移住定住人口対策の一助になると考</p>	<p>東部台では、さくらまつりを初め、数々のイベントで賑わ</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>える。また、各地域の特性を生かしたまちづくりも大切であり、市の新たな事業である「地域の夢実現事業」は、そういった意味ですばらしいと思う。</p>	<p>いを創出するコミュニティの模範となる地区だと思います。地域の夢実現事業は、市税の1%程度を財源として、一部の予算の使い方を各地区に委ねるものであり、模範ともなる東部地区の事業を参考に各地区でも取り組めるよう、議会としても応援して行きたいと思えます。</p>
<p>西茂呂3丁目</p>	<p>議会改革について、他の自治体でやっていて鹿沼市議会ですべてやっていないことを取り入れて欲しい。会派のプロフィールや政策などの紹介をホームページに乗せて欲しい。また、本会議における提出議案の賛否を一覧表で乗せて欲しい。</p>	<p>各会派への報告とあわせ、今後の議会活動における検討材料として伺っておきたいと思えます。</p>

## 加 蘇 地 区

開 催 日：平成30年5月15日（火）

開催場所：加蘇コミュニティセンター

参加議員：阿部秀実、館野裕昭、谷中恵子、津久井健吉、船生哲夫

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
下久我	<p>少子高齢化が著しい地区である。今、報告してもらった内容や市の施策などを確実に進めて行くことが、人口減少対策になることは理解できる。しかし、加蘇地区から見れば、どれも黒川の東側の施策だと感じる。西側地域を活性化する方法を考えてほしい。この地域は土地も安く道路も混まない。豊かな自然がある。そんなことをPRして欲しい。働く場所も、東側に企業誘致をすれば、若者は働く場所を求め移住してしまう。働ける場所が地元になく、優秀な若者を置いておけない状況になっている。地区内で対策を話し合っているが、難しい問題である。</p>	<p>昨日は東部台地区での報告会でしたが、少子高齢化問題では、少子化の対策は充実していても、高齢化に対応する施策が弱いのではないかという意見もありました。鹿沼市北西部の活性化のために、移住人口促進や企業誘致などには、道路や水道などのインフラ整備も欠かせません。議会としては、引続き執行部との議論に力を入れていきたいと考えます。</p>
上久我	<p>西北部の振興策として、市はマカの試験栽培に取り組んでいる。これまで、麻やこんにやくなどの栽培も手掛けた地域だが、持続できなかつた。マカ試験栽培の進捗状況を知りたい。栽培が難しいと聞いているが、やってみたいと思った時に栽培方法や経営に関する相談はどこでできるか。</p>	<p>現在、試験的に北西中山間地域で栽培しています。市場に出荷されたものは良質なできであると市農政課から報告を受けています。市場ではキロ単価で1,500円くらいになり、地域の皆さんの協力をいただきながら、栽培に取り組むことで、鹿沼の特産物になるよう期待しているというところです。栽培等の相談は、市農政課で受け付け</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>るほか、県上都賀農業振興事務所で技術指導も行っています。</p>
<p>加園</p>	<p>米を8町歩作っているが、何より大変なことは、獣害に悩まされること。狩猟免許を取得してイノシシ獲りをして市から報償金をもらっているが、予算がなくなると引き取ってもらえない。シカやサルなどの被害も深刻である。中山間地域の農業や生活を守るために、獣害対策の予算を拡充して欲しい。</p>	<p>獣害対策についての予算は、市と県で少しずつ上がってはいるが、追いつかない状況です。防護策や箱ワナ、土手の下草刈りなどで動物を近づきにくくする対策もあります。引き続き、市と地域の皆さんによる協力をお願いします。</p>
<p>加園</p>	<p>ナカニシの工場が大きくなり、雇用が増えたのはいいことだが、通勤時間帯の交通対策にも早急に取り組んで欲しい。通学する子ども達や、沿道の農作業車両などにとって危険な状態である。</p>	<p>交通安全の確保については、自治会と警察との関係になります。ぜひ、協議会長、自治会長と協力して、市の市民課交通対策係や警察署に強く要望を出していただきたいと思います。</p>
<p>上久我</p>	<p>最近、農家も少子高齢化の影響で、休耕する家が増えているので、農地の売買をスムーズにできるようにしたり、家を建てやすくするなどの特例を設け、規制緩和をしてはどうかと思う。</p>	<p>上久我は農業振興地域の指定区域の部分があると思います。この区域に住宅を建てるには規制が掛かっていますが、数年間隔で区域の見直しをする時期があります。その時に地域全体として白地にするなどの方法もありますが、特例となると農業委員会も対応が難しいと思います。議会としては、休耕地の利活用の観点から、執行部に働き掛けをしていきたい。</p>
<p>上久我</p>	<p>鹿沼市にはどのくらいの外国人が住んでいて、移住などはどのようにしているのか。</p>	<p>鹿沼市の人口 97,500 人の約1%と言われており、試算では約1,000 人になりますが、登録をしていない人もいますので、実態は把握できない状況です。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
野尻	交通安全について、野尻地区の通学路では、朝、通勤の車やダンプの通行が多く危険な状態である。3年前、交通立哨の時に市に申し入れをしたが、まだ、そのままになっている。対応をお願いしたい。	教育委員会が申し入れを受けたということですが、市道の工事計画や地権者との交渉は、都市建設部の管轄となります。小林協議会長から地元の状況を確認させていただきます。
下久我	野尻の市道沿道は、以前、農業構造改善事業に取り組んだ場所で、現在は安全確保に向けて交渉中で、啓発看板を設置するなどして注意喚起をしている。道幅の狭いクランクになった道路にガードレールが設置されていて、歩行者がギリギリに歩いている危険箇所である。解決に向け、地元の方と協力してなんとかしたい。	議会として、執行部に報告や後押しして、子ども達の安全確保のために努めていきたいと思えます。
上久我	上久我には石裂山とその後ろに月山といった自然豊かな素晴らしい山がある。これまでも観光協会などで市内外に周知をしているが、さらにPRを広げることで観光地として栄えるのではないかと。	加蘇地区には魅力的なところがたくさんあり、鹿沼ケーブルテレビでも紹介されています。そうした地域の特色を生かしたまちづくり事業として、地域の夢実現事業が始まりました。まず、地域がまとまって市に要望を出していただきたいと思います。
加園	私は加蘇地区で獣害駆除の活動しているが、他の地区での活動は許可されていない。隣接する地域全体で対応しないと、獣害問題は解決できない。他の地区で活動ができるようにして、地域全体で獣害を駆除できるよう、市から許可を出してもらいたい。	獣害の問題は、各地区からも声が届いています。対策には力を入れて行く必要はありますが、地区外での活動となると猟友会との関係もあり、市で許可するというのは違ってきますが、今回の意見を承って、議会としても対策等を考えていきたいと思えます。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
野尻	<p>新庁舎整備について、建設場所の問題などで、議会内が混乱し、執行部と議会とが相反した状況に見えた。各方面から、「議会は何をしているのか。」と厳しい意見も出ている。現庁舎位置での建て替えに落ち着いたようだが、現在の議会はどんな状況になっているのか。</p> <p>議会と執行部は車の両輪だと思う。市民のためにも庁舎の建設をスムーズに、できるだけ早く進めていただくことと、議会と執行部が力を合わせて鹿沼市民のために動き、人口減少対策などやるべきことを進めて欲しい。</p>	<p>議会では新庁舎整備検討特別委員会が設置されていましたが、各議員からいろいろな意見があり、議会総意をまとめることが困難であるということで、3月議会において賛成多数で廃止にしました。現在は会派ごとに要望などを出すということで進んでいます。</p> <p>また、新庁舎については、現庁舎位置での建替え、事業費60億円以内、木造木質化の推進ということの基本方針にして、現在基本設計が進められています。</p>
下久我	<p>水道の計画や管理体制などの会議に、自治会代表として推薦され参加した。現在97%の世帯で上水道の整備が進んでいる一方、約2,000世帯で整備されていない。北西部の幹線道路から家までの距離がある地域で進んでいないのは、国の補助金との関係もあるようだ。未加入世帯としては、負担金を考え困難となっている。議会として解決策に取り組んでほしい。</p>	<p>水道事業は一般会計と切り離して、企業会計としています。加入促進については、水道管から自宅までの工事費負担を軽減するために、地域として基金を貯めているところもあるようです。地下水を利用している家庭でも、安全面を考えれば飲料用は水道水にしていくことが必要です。議会としても、未加入世帯の整備推進に対し、市に働き掛けをしていきたいと思えます。</p>



## 南 押 原 地 区

開 催 日：平成30年5月15日（火）

開催場所：南押原コミュニティセンター

参加議員：鈴木毅、加藤美智子、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、関口議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
楡木町	<p>新庁舎整備検討特別委員会で下野市と那珂川町に視察へ行っているが、その内容は。</p>	<p>下野市は、3町が合併して、国道4号線沿いで調整区域内の利便性のいい場所に建てたことから、特に何百台も置ける広い駐車場を中心に、また、那珂川町は、木造二階建てという観点で調査してきました。</p>
亀和田	<p>2015年の国勢調査では、「全国市町村のうち897の市町村が消滅の危機にある。」  「2040年には子どもを産める女性の数が半分以下になってしまう。」という結果だった。南押原地区でも、65歳以上の高齢者が多く、年齢が下がるに従って人口が減っている。亀和田町ではもっと酷い状況で、本当に若い人や子供がいない。原因として、「若い人が結婚しない、できない。」  「経済力がない。」「そもそも出会いがない。」といった問題がある。また、「一人でいた方が気楽だ。」といった考えが結婚を遅らせている。子供を産んで育てて次の世代に繋げる責任や義務があるということをよく教えていかないと、無責任な若者が増えてしまう。  あとは出生率を上げることも必要。今の日本は平均で</p>	<p>貴重なご意見として、市政に生かしていきたいと思えます。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>1.43。今の人口を維持できるのが 2.07 だが、あと 20 年も過ぎれば人口が今の 70% になってしまう。これが 100 年経つと半分以下になってしまう。原因として、経済的な理由が挙げられる。核家族なので保育園に預けないと子育てが難しい。また、共働きをしながら子育てするのは大変だということもある。今、政府は働き方改革をやっているが、三世代の家族が必要である。核家族化しているからこういった問題が起きてくる。私は結婚に家族条項をつくって入れるべきだと思う。一番大きいのは人口の流失。若い人がここで生まれ育っても、みんな東京へ行ってしまう。これを何とか食い止めなければならない。例えば、宇都宮に働く場所を設け、東京への人口流出を防ぐダム機能とすること。鹿沼に住んで宇都宮に働きに出ることができる。宇都宮市や各市町と連携してやらなければならない。もちろん地場で産業を興すというのも大切。今やっても効果が出るのは 30 年先なので、真剣にやらなくては。行政も議員も市民もみんな一緒になって、危機意識を持たないといけない。難しい問題なので、それらをよく踏まえて市政を運営されたい。</p>	

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
磯町	進行する高齢化の対策として、地域包括ケアシステムの構築が推進されているが、議会における対応はどの程度進展しているか。	このシステムは、高齢者ケアを地域で支援していくものですが、実行していくのはなかなか難しいと思います。団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年問題を前に、県も各市も模索している状況です。
北赤塚町	新産業団地の整備とは、どういったものか。誘致の対象とする企業に条件は設けないのか。	市長としても、議会としても、これから考えていきます。環境に優しい会社とか、また、鹿沼の面積の 70%が森林であり、チップとかペレットボイラーなどが製造され、それをまた市内のいろいろな施設で使えるようなことを考えていきたい。鹿沼の環境に合った企業が望ましいが、具体的には決まっています。 《追加コメント》 現段階では、誘致対象とする企業等の条件は、業種や環境基準等も含め、白紙の状態です。今後、執行部において検討する際には、議会としての意見・要望を示したいと考えています。
磯町	新庁舎整備の位置を現庁舎位置とすることについて、「議会だより 198 号」に掲載された議員の意見では、賛成と反対がほぼ半数だった。今後、新庁舎はどうなっていくのか動向を知りたい。その後の各議員の意見も議会だよりに載せてほしい。	あれで終わりではなく、議員としての考えを示していかなければならない。これからも広報などを通して示していきます。 《追加コメント》 新庁舎位置については、既に執行部において現庁舎位置と決定し、その後の基本設計等の業務に着手していることから、今後、議員それぞれの意見等を議会だより等の公的媒体を通じて示す予定はありません。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
藤江町	<p>配布資料に記載の本会議における議案の賛否の状況について、第3回定例会ではすべての議案の賛否が分かれたようだが、何の議案だったのか。</p>	<p>議会だよりに議員一人ひとりの賛否を掲載しています。一人でも反対或いは退席があれば、賛否が分かれた議案として扱いますが、すべての議案が賛成多数で成立しています。</p>
北赤塚町	<p>予算的な話だが、鹿沼市のPRは弱い。スカイツリーに栃木県のアンテナショップがあるが、非常に狭くて商品もかなり選別されているため、その中で鹿沼の商品がいくつあるか分からない。</p> <p>例えば、鹿沼市が独自に都内にアンテナショップを作って、PRしていくという方法はどうか。他市では好評を得ている事例もある。定住促進、観光、企業誘致、それから農産物の消費拡大、そういう面で非常に大きな役割を果たすと思う。</p>	<p>議会としても「鹿沼のPRをしていかななくてはならない。」ということは重々考えています。貴重なご意見として、今後の議会活動に反映させていきます。</p>

## 板 荷 地 区

開 催 日：平成30年5月16日（水）

開催場所：板荷コミュニティセンター

参加議員：石川さやか、市田登、増渕靖弘、鰐原一男、大島久幸、関口議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
板荷	野生鳥獣害対策について、成果や課題、現状を示されたい。	議会でも野生鳥獣については関心を持っており、年間4,5人質問している。
板荷	農業用水路につて、板荷9区でも道路沿いは整備されているが、道路から田んぼに引き込む部分は手つかずで残っており、40戸近い集落は高齢化で堀ざらいの負担が大きい。9区は農振農用地でなく、補助事業の対象にならないことから、市の原材料支給制度を使ってU字溝設置を始めたが、年間10万円が限度のため、相当の年数が掛かる。地域で困っていることには漏れなく予算が配分されるよう、要望・監視してほしい。	政策調査研究委員会に挙げて、予算要望していきます。
板荷	2025年を見据えた地域包括ケアシステムの構築が動き出したが、鹿沼市としてはまだ具体的な動きはないようだ。このシステムは、地域としての課題を解決するために、いろいろな資源を活かしながら皆で支え合っていこうという考え方である。板荷地区としても、これからどんなことができるか、具体的に進めていかなければならない。国も財源が潤沢にあるわけで	我々議会も社会保障費を抑制しながら、お年寄りの安全安心を提言していきたい。 政策調査研究委員会に提言していきます。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	はない。議会からも市に働き掛けてほしい。	
板荷	市は、リーバスやデマンドバスには多額の費用を投入しているが、同じ公共交通の東武日光線への認識はどうなっているのか。板荷地区にとっては、どこに通うにも東武日光線はなくてはならないが、東武鉄道と市は疎遠でパイプがないと言われている。議員も、交流人口増やすために工夫すべき。ここ1年の東武鉄道の乗車率はどの程度上がっているのか。研究テーマに挙げて、前進させてほしい。	観光客の入込者数等を市で把握するのは限界があるので、民間に委託する必要があります。「どの駅で、どのくらい人が、何のために下車しているのか」、「通勤客なのか観光客なのか」、「住まいは県内か県外か」、「何を見て、来ようと思ったのか」など、実態調査をしないと次の手も打てないので、既に提言しています。
板荷	<p>板荷の一番の弱点は水道。水道が整備されていないことは、結婚後住む上でネックになっている。飲料水を沢水や山水に頼らなくてはならないため、渇水期は確保の心配があり、水源の汚染も懸念される。風呂に入るのも2日に1度。また、万が一火事の時に消火できなくては困る。</p> <p>以前、市で板荷地区住民を対象に「水道を引きたいか」というアンケートがあったが、「引き込みするとかなり自己負担が大きい」という色の強いアンケートだったように思う。その結果、反対が多い結果となってしまった。年数も経っているので、次世代のためにも再度アンケートを実施してほしい。</p>	<p>地域から要望を上げることが一番です。水道整備については、受益者が事業計画時には賛成しても、実際に完成してから水道を引かないという場合もあり、そうすると赤字になってしまいます。山間地ほど住宅の敷地が広くなることで、本管からの距離が長くなり、費用も掛かってしまいます。そのため、新たな給水エリアを拡大するために、そのための事業費を無利子で市が貸し付けるという制度を作りました。地域として合意を形成してもらわないと進まないもので、その点をご理解願います。</p> <p>《追加コメント》</p> <p>無利子の貸付制度は、本管が整備された給水エリアにおいて、個人が給水装置を自家敷地に設置する際に、その資金を貸</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		し付けるものです。
板荷	<p>地域包括ケアシステムを構築する上で、自治医科大学で少子化と高齢化について勉強している。毎年 2 月 11 日が開催日で、非常に参考になる。大学教授や実践者の話を聞けるので、興味のある方はぜひ聞いてほしい。</p> <p>自助・共助・公助があるが、地域の狭い範囲の助け合いの共助が一番重要だと思う。市内の小さなコミュニティの中で、お互いが支え合うシステムがあれば教えてほしい。</p>	<p>議会でも周知して皆で勉強したい。</p> <p>中央地区では 1 区の人が「防災」 2 区が「減災」 3 区は「高齢者の見守り」 4 区は「子どもの見守り」という風に部会を作って動き出したところ。今は予算ありませんが、本当に必要なところに予算をつけてもらえるよう、皆さんから意見を聞きながら要望していきたい。</p>
板荷	<p>新庁舎の整備について、今後のスケジュールを教えてください。</p>	<p>広報かぬまに掲載された通りのスケジュールで進んでいます。</p> <p>議会で議論を重ねた結果、現庁舎位置に落ち着き、方向性が決まりました。最近までは新館を残すかどうかという議論をしていたが、それも残さないことで決まり、整備面積も 12,000 平方メートルから 10,000 平方メートルに減りました。議会としても意見を反映してもらえよう提言していきたい。</p>

## 東大芦地区

開催日：平成30年5月17日（木）

開催場所：東大芦コミュニティセンター

参加議員：島田一衛、佐藤誠、大貫毅、赤坂日出男、大貫武男、谷中副議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
下沢	行政視察について、報告書を市のホームページに載せてほしい。	現状、報告書の提出は義務付けられています。ホームページへの掲載については、議会改革特別委員会において検討したい。
引田	若者が街中に出て行ってしまい、地元には高齢の親のみの世帯が増えているが、親が亡くなると空き家になってしまふ。空き家対策についてどう考えているか。	鹿沼市には約1,500軒の空き家があり、東大芦地区では、1,200軒中60軒、5%の空き家率です。 他市では、空き家バンクという制度により、空き家の情報提供や仲介を行っています。本市でも、空き家バンクの取組のほか、空き家の解体費用に対する補助事業を実施しています。
深岩	若者の流出による地域の空洞化により、消防団の人員不足は深刻な問題である。消防団サポート店事業などの対策だけでは、消防団に加入する魅力にならない。	現状では、消防団員835名の定員に対して820名の団員が在籍しており、15名の欠員が出ています。対策として、本年4月に学生消防団活動認証制度が創設されたことから、学生に対してYouTubeやケーブルテレビ、SNSなどでPRビデオを発信し、加入促進を行っています。
笹原田	スクールバスの運行について、発着所までは車での送迎が必要であり、負担が大きい。運行区間を笹原田まで延伸しなければ、子育て世代は出ていってしまう。	市では、スクールバスの運行距離の基準である4キロメートルに満たない地区でも、児童が少ないなどの実情を踏まえて対応しています。議会としても、児童の安全確保や保護者の負担軽減も含め、検討していきます。



発言者地区名	発言要旨	回答要旨
引田	結婚推進事業について、議会として何か考えはあるか。	今後も出会いの場を積極的に作っていきたい。赤ちゃんのサポートも含め、取組が充実化されるよう、議会としても働き掛けていきたい。
下沢	現在、ひなた保育園で駐車場の半分で工事をしていて危険である。先生達も見回りを行っているが、交通誘導員の配置等、安全対策を望む。	担当部局長と協議しながら、安全対策がとられるよう提言していきたい。
下沢	ゲリラ豪雨などで災害が発生した際は、被害を最小化しなければならない。市の防災計画をホームページで見たが、実際にその通りに市民が理解して行動できるか疑問である。また、要支援者や独居老人などの避難対応について、地域の見守り隊と連携した取組を行ってほしい。	市の防災計画よりも、ハザードマップを活用して地域ごとの取組を地域の方が主体となっていく必要がある。議会として、見守り隊と連携した取組がされるよう提言していきたい。
深岩	空家解体補助金について、対象要件に所得制限があるのか。補助金はどのようになっているのか。近隣住民に迷惑が掛からないよう、解体した後の管理はどうするのか。	所得制限はありません。工場などの住宅でない建物も対象としています。管理についても、議会でチェックしていきたい。
上日向	昨年、下日向から出会いの森総合公園までサイクリングロードを整備することについて要望したが、その後の進捗状況はどうなっているか。	市から県鹿沼土木事務所に確認したところ、進める方向で準備しているとのことでした。工事の時期など、具体的なことは未定です。
下沢	野生鳥獣害対策でワイヤーメッシュを設置しているが、1メートルの高さではシカは飛び越えてしまって役に立たない。2メートルのものを要望しているが、何とかならないか。	スピーディーに対応するよう、市に働き掛けていきたい。

## 菊 沢 地 区

開 催 日：平成30年5月22日（火）

開催場所：菊沢コミュニティセンター

参加議員：石川さやか、市田登、増淵靖弘、横尾武男、鰐原一男、  
大島久幸、関口議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
玉田町	<p>議会改革特別委員会の調査事項に「視察報告書の全議員提出について」とあるが、民間も出張に行ったら報告書を出して初めて旅費の精算になるが、今まで視察報告書は作成していなかったのか。</p>	<p>今までも報告はしていました。ただ、今までは視察に行ったメンバーの中で役割分担をしていて、班長が視察内容を、会計係が収支をそれぞれ報告するというものでした。今回、各議員それぞれ意見も違うこともあり、視察に行ったメンバー全員が報告するという改革であります。</p> <p>《追加コメント》 その後の同委員会の議論の結果、「会派ごとに各議員の意見をまとめた上で、報告書を提出する。」ということに決定しました。</p>
千渡	<p>政務活動費の支出内訳について、調査旅費が全体の40%を占めているが、その結果は市民にどのように報告しているのか。</p>	<p>先進地事例の実態や、市職員のご苦勞、どういった改革、議論、経緯があったのか、予算の取り方などを報告書にまとめ、市に報告しています。調査報告と提言という形でホームページに全部掲載しています。</p> <p>《追加コメント》 行政視察等の調査に係る報告書は議長に提出し、それぞれの報告の中からその後の市の施策に反映すべきものを提言として市長に提出しています。現在、収支報告書と領収書の写しをホ</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		ホームページで公開していますが、報告書は掲載していません。
千渡	調査旅費の報告について、大事な報告だが、それをどのくらい実践してもらえているのか。	視察内容を踏まえ、各議員が一般質問という形で執行部に提言しています。しかし、せっかく先進地で勉強してきたことを提言しても、実行に至らないこともあります。
古賀志町	文教民生常任委員会の調査テーマであるリーバスについて、市では高齢者が運転免許証を返納すると、リーバスの無料乗車券を渡しているが、そもそもバス停まで4,5キロメートルもある方は、遠すぎて乗らない。予約バスについても、利用できる地域とできない地域があり、時間帯の制限もある。	約8千万円の補助金がリーバスの運行に使われているが、よく空気を運んでいると市民から指摘を受けることがあります。現在、利用しやすく、できるだけ経費の掛からない地域公共交通システムの調査研究をしています。 先月、まちの駅、上都賀病院前、旧栗野町役場でアンケート調査を実施しました。意見を把握しながら、どこを通せばより使いやすくなるのか、他の地域の例も見ながら検討しています。また、鉄道のダイヤ改正に、リーバスの時刻表がきちんと対応しているのかのチェックも必要。先進地視察では、ウーバーシステムについても学びました。携帯電話で受信した最寄りの運転できる人が迎えに来て、目的地まで運んでくれる仕組み。いろいろ調査研究して、市民が乗りやすいシステムにしていきたい。
古賀志町	会場の皆さんもリーバスや予約バスを利用したことがないと思う。これからのために優しい乗り物にしてほしい。	タクシーとのコラボレーションということで、路線に対してタクシーを使って委託する考えもあります。ボランティアで人

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>しい。高齢になればいずれ車に乗れなくなるので、そのときのためによりしく願います。</p>	<p>を乗せる意見もあるが、2種免許がないと、ただ親切で乗せて事故があったときの保険の問題もあります。例えばタクシーを各地に置いて、4,5キロメートル圏内の人を何人か集めて、ワンコインで幹線まで送迎して、バスに乗ってもらおうというような、いろいろ組み合わせないと地域の足になり得ないと思うので、もっときめ細かに提言していきたい。</p>
千渡	<p>土日は壬生町のわんぱく公園や宇都宮市のロマンチック村まで行って歩いている。鹿沼市にも出合いの森があるが、歩道が少ないので歩きにくい。「1周何キロ」というコースを整備してほしい。</p>	<p>鹿沼市には小さい子や自転車乗り始めの子が安心して遊べる場所がないと、以前から市に意見しています。一般質問で子ども専用の公園を作してほしいと訴えても、実現には至っていません。政策調査の方にご意見お伝えした上で、改めて議会からも訴えていきたい。</p>
下武子町	<p>人口が減少し、96,000人くらいになっているが、議会の中で議員定数削減の議論はしていないのか。人口がどんどん減っているのに、議員だけはそのままの人数でやっていくという甘い考えはおかしいのではないか。</p>	<p>栗野町と合併する前、人口が8万人台だった時に定数36名だったのが、合併後28名に減らし、さらに26名、24名と減らしてきました。議会でも議員定数については真剣に考えており、議会改革のテーマにも挙がっています。市議会議員の予算は市全体の予算400億円の0.8%です。皆さんの意見をお聞きし、より多くの執行部への提言が実現することで、それが生かされるよう努めていきます。</p> <p>《追加コメント》</p> <p>現在、議員定数については、議会改革特別委員会で検討して</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
下武子町	<p>今現在議員のいない地域もあるが、自治会長が市に要望すれば話は進む。議員がいなくてもちゃんとやっているの、そんな考えでは困る。</p>	<p>います。</p> <p>自治会はいくまでも自治会なので、それを取りまとめていくのが議員の仕事です。たくさんの自治会からの要望は執行部としても受けきれない中で、議員の方がどこにどれだけの予算があるかより詳しく分かっているので、議員が交渉した方がより効果的で実効性があるというわけです。</p> <p>議会改革特別委員会の中で議員定数について議論しています。我々議員は「地域のためにどれだけ働けるか」ということも含めて頑張っているの、ご理解願います。</p>
見野	<p>町はどんどん南に行き、ホテルやホームセンターもできる。北部地区の開発はなかなか難しい中、菊沢西部として栃木県の田園100選に選ばれた。地域の夢実現事業で桜を植えたりしている。北部地区の文化ゾーンとしては、菊沢には菊沢神社、富岡には熊野神社、玉田には鹿島神社がある。その文化ゾーンで、何か活性化できるような事業があればいいのではないかと。また、宇都宮のサイクルロードからつなげた市街地の連携事業も必要。農林水産省の多面的機能支払交付金制度を使って農村環境整備もやっている。そのおかげで、何人か息子がUターンで戻ってきた家もある。</p>	<p>北部地区で熱心に活動されているのは新聞でも存じ上げています。南や東部は自然と発展していくが、菊沢西部地区は、地域と行政が手を取り合って発展する道を作っていかなければなりません。執行部に伝えていきたい。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>り、小学校も少し子供が増えた。見野地区も過疎化・少子化が進んでおり、北部地区の活性化ということで、板荷のあんば様もひっくるめて何か大きな事業をやればいいのではないか。県でも小来川街道の整備をしている。玉田でも、土地改良や道路整備事業をやるようだ。そうすれば見野地区を中心にいろいろな活性化ができると思う。その企画のレポートは市役所に提出しているので検討してほしい。</p>	
<p>武子</p>	<p>子ども医療費の助成が鹿沼市は中学生までだが、高校生まで拡大するのは予算的に厳しいのか。</p> <p>インフルエンザ予防接種は、未就学児のみ助成されているが、小学生は助成されず、費用が高いので受けない人が結構いる。小学生くらいまで拡大できないか。</p>	<p>議会からは何度も市長に提案しています。真摯に受け止め、政策調査特別委員会への提案の中で検討します。</p> <p>子ども医療費は県と足並みをそろえる形で実施していましたが、県は小学生まで対象としているところ、鹿沼市は独自に中学生まで助成しています。子育て世代としては高校生まで無料にしてほしいという希望はありと理解しています。</p> <p>インフルエンザ予防接種は関心が高く、受験生は特に気を付けていると思います。また、多子世帯は費用負担が大きくなってしまいうというものもあるので、引き続き要望していきたい。</p>
<p>玉田町</p>	<p>若い人に地域に居ついてもらうためには、働く場所があること、何より交通の便がよくなることが重要。鹿沼市は環状線が日吉町のところまで</p>	<p>20年も30年も前から青写真はできていますが、現実進んでいません。議会としても提言していきたい。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>抜けてきたが、平成橋から先の玉田町と日吉町の間ができないと、その先に大きな会社があり、朝晩は渋滞で大変危険な状態だ。玉田地区の環状線を一刻も早く抜いてほしい。</p>	
千渡	<p>小山市では、認知症高齢者の損害賠償保険加入を支援しており、年間 3,000 円の保険料のうち 2,000 円を市で負担するというもの。認知症の方が徘徊しているときに事故に遭った場合の保険だが、特に小山市で想定しているのは電車事故で、県内初の取組。鹿沼市でも検討されたい。</p>	<p>検討させていただきます。</p>
古賀志町	<p>ユネスコ登録になった秋祭りは、2 日間鹿沼市民だけでは賅えずに、他市からもお手伝いに来てもらっているが、ホテルや旅館が足りずにラブホテルに泊まっている状況。せっかく鹿沼のイメージアップのために来てもらっているので、何か改善できるようご検討いただきたい。</p>	<p>今度ビジネスホテルが約 200 室できますので、そういったところを利用してもらったり、街中の旅館の跡地を再生利用している動きもあります。少しずつそういった部分を補っていけるよう、議会としても要望していきたい。</p>

## 東 部 地 区

開催日：平成30年11月5日（月）

開催場所：市民情報センター

参加議員：鈴木毅、加藤美智子、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、関口正一、大島議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
中田町	<p>高校生のとの意見交換会で「JR鹿沼駅前がコンビニなど何もないし、道路も暗い」などいろいろな意見が出ていたようだが、その後、それらの改善は実施しているのか？</p>	<p>示された意見をまとめ、政策調査研究委員会で検討した上で、執行部に政策提言として提出しています。</p>
末広町	<p>少子高齢化についてはどこの市でも様々な取組をされており、避けては通れない問題である。末広町では高齢化世帯が46%も占めており、限界集落の問題は田舎だけでなく街の中でも起きており、自治会などのコミュニティ活動に支障を及ぼしている。</p> <p>コミュニティの推進、まちづくりは、自治会活動がないと動かない。一方で、自治会活動には大変なリスクが伴う。現在は私たち自治会自らが自治会活動保険に入り、活動に伴うケガや死亡事故などに備えている。しかし、補償の上限も限られ、保険料も高い。他市では行政の方で保険に入っているところが多い。「自治会活動が大事だ」と考えるならば、そういった制度整備を執行部に要望してもらいたい。</p>	<p>現在、担当部局において、市民ボランティア活動保険の加入に係る予算措置の要望をしているところであり、議会としても成立させていきたい。</p>



発言者地区名	発言要旨	回答要旨
貝島町	<p>フランスは、合計特殊出生率が1.66から2.00に上がり、少子化対策で成功している国である。議員がフランスに視察に行くことはあるのか。</p> <p>私の家では2人子どもがいるが、大学進学にお金がかかるので3人目はつくらなかった。鹿沼市にも無利子で低所得者に貸し付ける奨学金はあるようだが、その拡充や、返済の必要がない給付型を考えて欲しい。</p>	<p>現在は、海外視察は行っていません。</p> <p>フランスは婚外子も認めている国柄で、教育費や学費について貸付型の奨学金ではなく、補助金として給付しており、子どもを育てやすい環境が整っている。欧米では「子どもは国の財産」という考えで、給付型による制度が確立しているが、日本では個人・家庭の努力で進学するという形が多く、なかなか改善されない現状です。そのような対策も執行部に訴えていきたい。</p>
貝島町	<p>若者を集めてこういう意見交換会は開く考えはないか。</p>	<p>平成28年度から高校生との意見交換会を実施しており、また、今年度は市制施行70周年を記念して中学生議会を開いた。それらとは別に、「若者や女性による議会があってもいい。」「若者や女性の意見に耳を傾ける時代だ。」などという話が議員間で出ています。</p>
不明	<p>新産業団地について、どのくらいの規模のものができるのか。</p>	<p>30～40ヘクタールです。計画の段階です。</p>
上野町	<p>子育て支援は幅が広いので、これという決め手がない。行政の方でいろいろ施策を挙げているが、絵姿が見えてこない。「住んでみたい」と思えるようなまちづくりを地道にやっていくしかない。魅力ある職業のあるまちづくりが肝心。</p>	<p>宇都宮西中核工業団地の鹿沼側は完売し、新産業団地を整備する予定もあります。</p> <p>若い人が戻ってくるためには働く場所がないなりません。働く場所があって稼げるから、そこに住もうということになり、住んで家庭を持って子どもをつくって育てる。そういった好循環が生まれる施策を提</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		言していきたい。
東末広町	<p>出産について、どうして子どもを産まない・産めないのか。若い世代の人を集めて情報を集めた上で、当事者が必要としている支援をしてもらいたい。</p>	<p>20代、30代の生の意見を聞かないと分からない部分もあるので、そういう機会をどうやって作っていくかを議会内で検討しなければなりません。</p> <p>不妊治療、出産補助、待機児童解消、病後児保育など、いろいろな需要に対応できるような提言をしていきたい。</p>
東末広町	<p>街中で上下水道が整備されたが、従来のドブがそっくり残っている。蚊が発生する要因にもなり、若者は住むのを敬遠する。U字溝を設置するなど、考えた方がいい。</p>	<p>街中に水田で使っていた水路が残っていますが、それらも大雨時などに雨水を排水するのに使っているため、なくすことはできません。水が溜まるとボウフラや悪臭が発生するので、泥さらいや草刈りなど一部は地域で負担してもらいつつ、行政として予算をかけるべきところにかけるよう訴えていきたい。</p>
貝島町	<p>議会報告会も回数を重ねてきた。一つ不満なのは、議員を通して行政に対する私たちの要望を出しても、行政側でどういう回答をしたかが私たちの方に来ないで一方通行になっている。文書で出した質問は文書で回答するというルールを作ってはどうか。</p>	<p>そういう仕組みづくりは大切だと思う。開催方法や執行部との連携について、今後の課題としたい。</p>
上材木町	<p>これからの医療は予防が大切で、その中でも予防接種は重要。インフルエンザ予防接種については、就学前と65歳以上は市から助成金が出るが、13歳までは2回接種が推奨されており、子育て世代に</p>	<p>インフルエンザ予防接種の対象者拡大については、何人かの議員が質問したりしているが実現に至っていません。予算の関係もありますので、引き続き要望していきたい。</p> <p>高齢者肺炎球菌ワクチン予</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>とってそれにかかる費用は馬鹿にならない。鹿沼市は医療施策に慎重であり、近隣市に遅れがちなところがある。</p> <p>また、高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種についても、<b>65</b>歳以上の方は1回だけ国から助成金が出るが、市として年齢に関わらず支援をすることで住みやすいまちづくりの一助になると思う。接種率は<b>30%</b>前後だと思う。肺炎になってから治療するのではなく、市全体としての医療費を考えると、予防に重点を置くことが必要になってくると思う。</p>	<p>防接種については、国の施策が終了した後は、市の負担で継続していくかどうかということになります。議会として、国や市に支援の継続・拡大を要望していきたい。</p> <p>《追加コメント》</p> <p>高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種に係る現行の国の助成制度は平成<b>30</b>年度で終了することになってはいますが、現在、国では制度の継続を検討しているところです。</p>

## 粟 野 地 区

開 催 日：平成30年11月6日（火）

開催場所：粟野コミュニティセンター

参加議員：島田一衛、佐藤誠、大貫毅、赤坂日出男、大貫武男、大島議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
口粟野	ケーブルテレビで議会中継を見るが、時間を節約するため、答弁で登壇するのは市長だけでいいのではないか。 議員や執行部の発言で、「施策（しさく）」「施行（せこう）」という言葉聞くが、正しくは「施策（せさく）」「施行（しこう）」ではないか。	議会改革を検討する中で参考にさせていただきます。 最近はどちらの読み方もするようになっているようですので、ご理解いただきたい。
中粟野	粟野地区に集会場所を整備したりなど、精神障がい者のための支援をお願いしたい。	議会においてしっかりと伝えていきたい。
口粟野	議員年金の復活が議論されているが、鹿沼市議会でも反対決議を出してもらいたい。	全国市議会議長会からの照会に対して、当議会では「復活を要望しない」と回答しました。
口粟野	建設業従事者がだんだん少なくなっている。災害時の重機操作など、住民が安心して暮らすためにも、雇用の拡充が望まれる。	議会としても課題として認識しています。公共事業の活性化や予算措置について、執行部にしっかり伝えたい。
入粟野	コミュニティ広場の遊具（ブランコ、滑り台など）は旧粟野町時代のもの。事故が起こってからでは遅いので、至急安全点検をしてもらいたい。	土木課と連絡を取り、所要の対応が講じられるようにしたい。
口粟野	天満橋下流から柳橋の間の河川敷に雑木や竹が流れ込んでおり危険なので、対応してほしい。	所管する県の方に伝えていきます。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
口栗野	子ども食堂の実施状況はどのようなか。どのような子どもが利用しているのか。	現在、市内4か所にあります。市は直接かかわってなく、地域の住民団体やNPO法人などが運営しています。経済的困窮者だけでなく、誰でも利用できる形をとっているようです。

## 清 洲 地 区

開 催 日：平成30年11月6日（火）

開催場所：清洲コミュニティセンター

参加議員：鈴木毅、加藤美智子、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、関口正一、  
谷中副議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
北半田	農林業活性化特別委員会において「農産物の販路開拓の支援」について提言しているようだが、これについてどのような成果があったのか。	農協と連携しながら販路開拓を進めています。
北半田	この辺はおいしい米が穫れる地域なので、相応の価格で販売できるよう、差別化が図れるシステムを検討してもらいたい。	課題もありますが、可能な方法を検討したい。
深程	以前テレビで、住居や子育てに関して手厚い支援をしている自治体に何世帯かが移住してきているのを観たが、鹿沼市ではどのような状況か。	例えば移住者に対する補助金と言う方法が考えられますが、補助要件の期間だけ住んで、それが終了すると転出してしまふ事例もありますので、経済面の支援だけで果たして定住に結びつくのかというのは疑問なところです。その辺りも含めて慎重に検討していかなければなりません。
深程	あちこちで空き家が増えているが、何か対策はあるか。	本市の大きな問題の一つと捉えています。第一義的には所有者の責務になりますが、雑草や樹木の管理不全、その他深刻な問題については、市の方で可能な範囲で対応することになっています。 また、特に倒壊の恐れがある空き家については、今年度からその解体費用に対する補助金

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		も実施しており、対策に力を入れているところです。
深程	イノシシ、シカの駆除対策はどのようなか。	ワイヤーメッシュや箱罠の設置に対して補助するなどの支援のほか、猟友会と連携して対策を進めています。
北半田	定住促進ということで、鹿沼版地域おこし協力隊という事業を実施しているようだが、具体的にどのようなものか。	<p>この事業は、自らの生業(なりわい)によって生計を維持しながら、地域社会に貢献していくモデル事業です。</p> <p>第1号隊員として宇都宮市から移住した女性が、屋台のまち中央公園に「おこんにやく茶屋」をオープンしました。現在は他1名の合計2名に対して継続支援を行っています。</p> <p>また、本市の情報発信力を強化するため、市内に居住しながら本市ならではのデザインを全国に発信する非常勤特別職「鹿沼市地域おこし協力隊員」としてコスタリカ出身の男性を市で雇用しています。</p>

## 南 摩 地 区

開 催 日：平成30年11月7日（水）

開催場所：南摩コミュニティセンター

参加議員：阿部秀実、館野裕昭、谷中恵子、津久井健吉、船生哲夫

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
油田町	西大芦小が廃校になった。学校は地域の拠点だと思う。拠点がなくなるということは、その地域がますます過疎化してしまうということ。「あの地区に住んだら学校がないから、他の地区にスクールバスで行かなくてはならない」というようなことでは、ますます地域が寂れてしまう。地域の学校というものをどういう形でもいいから残して、地域に根差した地域性のある子どもの育成と、地域が活性化する施策を考えていただきたい。	統廃合を行うに当たっては、子どものことを第一に、教育委員会の方で保護者や地域とよく話し合っていて決めています。統合することによるメリットもあると思う。いろいろな意見を聞いて、執行部に伝えたい。
西沢町	加園の「くら～ねの里」は、何区画で、どんな年代の方が住んでいるのか。	19区画の菜園付き住宅地を分譲し、完売しています。移り住んだ19世帯の3分の1以上が子育て世代でした。議会としても、同様の事業を他地区にも広げるよう要望しています。
西沢町	試験栽培しているマカについて、その実績や栽培適地について聞きたい。	現在市内7か所で試験栽培しているところであり、これが成功すれば市内各地域に広がっていく考えのようです。今年は各地で順調に生育していると聞いています。
西沢町	鹿沼版地域おこし協力隊の実績はどういうものか。	この事業は、自らの生業（なりわい）によって生計を維持しながら、地域社会に貢献していくモデル事業です。



発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>第 1 号隊員として宇都宮市から移住した女性が、屋台のまち中央公園に「おこんにやく茶屋」をオープンしました。現在は他 1 名の合計 2 名に対して継続支援を行っています。</p> <p>また、本市の情報発信力を強化するため、市内に居住しながら本市ならではのデザインを全国に発信する非常勤特別職「鹿沼市地域おこし協力隊員」としてコスタリカ出身の男性を市で雇用しています。</p>
西沢町	娘がスポーツ少年団に入っているが、活動に対する市からの補助金が減らされている。活動をサポートする資金なので、減らさないでほしい。	少子化で活動が縮小傾向にある中、各地域で運営に苦勞しているのは理解しています。教育委員会に要望していきます。
上南摩町	南摩ダムの計画に関しては、「ダムが決壊したらどうするのか」「地域が寂れてしまうのではないか」といった町共通の問題がある。議員に対しては、逐次現地確認をして、議会で課題を取り上げてほしい。現地に来る時に声をかけてもらえれば、地元の声を伝えることができる。	独立行政法人水資源機構が主体の事業ですので、同機構や市に対して強く働きかけるようにします。
西沢町	いちご市のPRについて、いろいろ工夫して市内では認知されてきたが、重要なのは地区外からどれだけ人を呼び込めるかである。東武日光線でラッピング電車を走らせたりなど、予想外のことをやってはどうか。	議会では、決算特別委員会の際に「いちご市のPR予算が少ない」と指摘したり、予算の追加要望をしています。もっと力を入れるよう、さらに求めていきます。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
油田町	娘が医療ケアの施設に通っているが、地区要件に合わず移動支援が受けられていない。送迎する親も高齢化してきている。どの地域からも移動支援が受けられるよう要望する。	持ち帰り検討させてもらいます。
下南摩町	総合計画の目標に「学力の向上(全国平均以下⇒全国平均)」とあるが、鹿沼市の学力水準は全国平均以下なのか。	教育委員会では、はっきりした順位は公表していませんが、全国平均で栃木県は中間より少し下になっています。鹿沼市は栃木県の中で中間に位置していますので、全国で見ると、平均より若干下になるようです。現在、鹿沼市では59名の非常勤職員を配置して子ども達に手厚い学習指導をおこなっているところです。平成30年度は平均並みに向上しているということですが、教育委員会への課題として持ち帰らせていただきます。
佐目町	近年、局地的豪雨が増えており、河川の氾濫が心配。大雨の度に川の水かさが増し、堰が塞がってしまう。抜本的な対策が必要だと思う。	市でも毎年、河川改修工事を発注していますが、鹿沼は川が多く、改修には多額の予算がかかり、なかなか進まないのが実情です。引き続き、県や市に強く要望していきます。

## 中 央 地 区

開 催 日：平成30年11月8日（木）

開催場所：総合福祉センター

参加議員：島田一衛、佐藤誠、大貫毅、赤坂日出男、大貫武男、大島議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
今宮町	鹿沼には川上澄夫美術館はあるが、鹿沼の美術館はない。美術館を整備してほしい。	議会においても美術館については関心を持って対処して行きます。
今宮町	富士見通り(市道 5079 号線)の歩道と上都賀庁舎の前(市道 5100 号線)の西側の歩道の整備を要望する。	議会として認識しており、しっかりと執行部に訴えていきたいと思えます。
麻苧町	市の人口年間 800 人の減少と高齢化の深刻な問題をどのように訴えていくのか。分かりやすいパンフレットの作成をお願いできないか。また、市民の身近な問題として、説明するためのパンフレットを作ってもらいたい。「今、何が進行しているのか」「10 年後、20 年後はどうなってしまうのか」、具体的な問題を提起し、危機感を伝えるパンフレットを作ってもらいたい。	人口減少の現実を分かりやすくパンフレットにすることは、対策を次につなげていくために大切なことだと思うので、参考にさせていただきます。 また、鹿沼市は人口ビジョンと言う統計による冊子を作っており、様々な問題をまとめた予測統計を出しています。
三幸町	残念なのは、栃木県の中で鹿沼市の人口が最も落ち込んでいること。今まで先を見据えた対策をしてこなかった結果だと思う。落ち込みの小さい他市の状況をきちんと分析してもらいたい。 子育て支援に関しても、学童保育が本当に充実しているのか、考えてもらいたい。	議会でもきちんと調査したい。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
麻苧町	現在、40歳以下の議員はいない。全国の市町村では、議員の成り手不足が問題になっているところもあるが、鹿沼市では対策を考えているのか。	本市議会としても課題として認識しています。もっと市政に関心を持ってもらえるような議員活動をしていかなければならないと感じています。
麻苧町	政務活動費の区分に調査旅費とあるが、仕事で行くのだから含めなくていいのではないのか。	政務活動費の適正な執行のため、定められた基準等に従って区分しています。
麻苧町	平成29年度の政務活動費で、行政視察に234万円も使っている。市の方へこれだけの金額が反映できればいいのだが、どうか。	政務活動費の使途の一つとして、各種施策における先進地の視察調査に使っています。その結果、本市に取り入れ方がよい施策について、執行部に対し提言や問題提起を行っています。
三幸町	高齢者の地域包括支援ケアシステムを来年度中に全17地区で立ち上げることになっているが、高齢者の見守りと言っても若い人は仕事をしているので見守れないのが現状で、取決めだけでそれを実行に移すのは難しい。市議会でも取り上げてくれない。予算もないので、支援者に対して何らかの援助がないと難しい。議員や市の担当者に話してもなかなか進まないのが現状である。市に専門の部署を設けるほどの重要な案件だと思っているので、意見を聞きたい。	地域包括支援ケアシステムにおいては、地域に担っていた部分があります。現実には、元気な高齢者が弱っている高齢者の面倒を見ることにもなるかもしれません。見守り、買い物支援、食事、掃除、外出時の付き添いなど、支出を伴う部分もあると思いますので、行政側が果たすべき役割について、議会として伝えていきます。
不明	議員報酬は年額700万円くらいか。選挙がなければ悠々自適な生活が送れると思うが、選挙があると生活費も制約されてしまうので、若い人は議員に	議員定数や報酬などの視点でも議会改革を議論しているところです。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>なることに魅力を感じないと思う。若い人や一般のサラリーマンも立候補できるよう、議員定数や報酬などの環境を整えてほしい。</p>	
西鹿沼町	<p>各市で少子高齢化・人口減少に関する施策を実施しているが、ベンチマークになる自治体はあるのか。</p> <p>過去の施策の成功事例を教えてください。毎年人口が800人減っているとのことだが、減少している中でも、何かしらの施策をやっているから800人の減少で抑えられているんだというのがあれば分かるようにしてほしい。</p>	<p>特にベンチマークとして設定しているものではありません。市独自に目標を決めています。</p> <p>「まち・人・仕事総合戦略」の中でKPIという施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標があり、先日、議会の方にもその中間報告がありました。詳細は省略しますが、人口減少に歯止めをかけることができないというのが現状のようです。</p>
麻苧町	<p>人口減少問題が改善するまで、或いは成果が出るまで、これだけに取り組むと言うことにしてはどうか。</p>	<p>常任委員会ではそれぞれテーマを決めて調査に取り組んでいます。人口減少問題については総務常任委員会及び文教民生常任委員会で取り組んでもいいのではないかと思います。また、常任委員会でも横の連携を取っていただきたいと思います。</p>
今宮町	<p>なぜ鹿沼市には、宇都宮市の悠久の丘のような斎場がないのか。鹿沼市から悠久の丘を利用している事例も多いと聞く。市民の利便性を考慮した斎場を整備してもらいたい。</p>	<p>《追加コメント》</p> <p>この質問については回答を求められていませんが、今後の議会活動の参考にさせていただきます。</p>

## 北 押 原 地 区

開 催 日：平成30年11月8日（木）

開催場所：北押原コミュニティセンター

参加議員：阿部秀実、館野裕昭、谷中恵子、津久井健吉、船生哲夫

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
みなみ町	<p>高校生との意見交換会を開催したようだが、どんな内容だったのか。議会で取り上げるほどの意見はあったか。</p> <p>今後は、その内容についても議会報告会の資料に掲載してほしい。</p>	<p>道路や歩道など交通の便、コンビニなど利用できる店が少ないなど、交通や通学における利便性に関する意見が多く、私たち議員が認識している課題と共通するものがありました。高校生の意見も尊重し、さらに市や県に要望していきたいと思います。</p> <p>議会だよりには掲載しましたが、今後、議会報告会の資料にも掲載できるようにします。</p>
みなみ町	<p>建設水道常任委員会の提言の中の「市街化区域外の地域における集落機能維持」は具体的にどういうことか。</p> <p>みなみ町は一番東側の地域で、400世帯の町です。地域の拠点はコミセンですが、高齢者はコミセンまでの交通手段がないこと、道路整備が遅れていることなどが課題です。町の発展と集落の維持には道路整備が不可欠なので、ぜひお願いしたい。</p>	<p>地域によっては限界集落になっているところもある。集落の維持や定住・移住に関してどう取り組んで行くかということです。</p> <p>道路整備や交通手段の確保については、その推進に向け、議会全体で取り組んで行きます。</p>
みなみ町 上殿町	<p>建設水道常任委員会の提言の中の「北押原地区の逆線引き地域の見直し」とは具体的にどういうことか。</p> <p>経緯について、これは県が止めているのではなく、当時、市</p>	<p>持ち帰ってよく調べます。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>がこの計画を持ってきたが、一方的な計画で住民が反発した。よく調べてもらって、地元に残根を残さないように臨んでもらいたい。この計画は地区全体としてやったものではなく、一部の農業者と市の方の個人的な関係でやったものと推察している。議員にはそうした経緯を理解してもらってこそ、鹿沼市の未来があると思う。</p>	
<p>上殿町</p>	<p>新庁舎問題について、何度も議会に傍聴に行ったが、質問方法など議会運営にも問題があったのではないかと思う。また、庁舎の計画面積が 12,000 m<sup>2</sup>から減っているのに、予算の 60 億円は減らさないのか。市民が納得できる説明が欲しい。</p>	<p>自然災害が近年多発していますが、熊本地震で庁舎が被災したことを機に、本市でも防災拠点となる庁舎を立て直すべきということになりました。本市の現庁舎は、東日本大震災の時ににひびが入り、その後の耐震診断で「次に震度 6 の揺れがあると建物が崩壊する」という結果になり、庁舎建て替えの議論が始まりました。議会報告会や市民会議で、市民からいろいろな意見が出ました。その後、新庁舎整備に関する検討委員会が設置され、6 か所の候補地から現庁舎位置が選定されました。庁舎の面積が小さくなったのは、2020 年東京オリンピック関連施設の建設時期と重なり、材料費や人件費などの高騰が懸念されたことから、コンパクト化することになりました。</p>
<p>上殿町</p>	<p>今までの市民に対するアンケート調査で、「現庁舎位置がいい」という結果にはなってい</p>	<p>新庁舎整備については、私たち議員も市にいろいろな意見をしてきました。今後も、機を</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>ないのではないかと。また、県の水害想定区域の基準が改定されたが、素掘り池など、地域の防災対策を優先すべきではないか。もっと市民のいろいろな意見を聞いていかないと、合意形成はできない。</p>	<p>捉え、様々な提言をしていきたいと思います。</p>
<p>みなみ町</p>	<p>人口減少対策は、まずは道路の整備だと思う。道路が抜けてライフラインがしっかりしないと発展しない。さつきロードのところに産業団地が計画されているが、果たしてどれだけの企業が進出して、どれだけの雇用が生まれるのか疑問なところ。壬生町では大きな工場の誘致と道路整備が進んでいるが、そのような思い切った対策が必要。鹿沼は農業、林業、産業の特色あるまちなので、皆が住み良い町にして欲しい。</p>	<p>新産業団地は30～40ヘクタール規模で計画されています。工業に限らず産業全般からの誘致をしたいと考えていますので、発展が期待される場所です。</p>
<p>上殿町</p>	<p>子育て支援に関する活動をやっているが、市に支援を相談しても「お金がない」としか言わない。子育て支援と謳いながらも、そんな予算措置しかできないのはまずいと思うし、その予算の枠を決めていくのは議会だと思うので、しっかりやってもらいたい。</p> <p>新産業団地について、土地を造成するだけでなく、どんな業種の会社に来てほしいのか、目的を持って計画を進めるよう、議会でも議論してほしい。ものづくりは鹿沼の特徴的なことだと思うので大事にしてほし</p>	<p>いずれもご意見の通りと共感する場所です。参考にさせていただき、議会としての方向性を出していきたいと思えます。</p> <p>道路整備については道路沿いの地権者の了解が必要になりますので、自治会として要望を取りまとめて、請願等を出していただけるといいかと思えます。</p>



発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>い。</p> <p>定住促進では、道路や交通の整備と合わせて、どういう場所に人が住む場所を作るのかなど、議会は市民の意見を聞いて進めてもらいたい。</p>	
<p>みなみ町</p>	<p>今は結婚をしなくとも女性が自立できる時代。医療費や幼児教育・保育の無償化など経済面ばかり支援しても、子どもが増えることにつながらないのではないか。小学校からの家庭や教育制度まで掘り下げて、もっと根本的な対策が必要だと思う。</p>	<p>現在も、子育て世代が安心して子どもを産み育てられるようにするためのサポート体制の整備や小中学生が赤ちゃんと触れ合う場の提供など、経済面以外でも各種の事業を実施しています。また、県内で最も多い59名の非常勤職員を配置するなど、教育に力を入れているところでもあります。いただいた意見を今後の活動に生かしていきたいと思います。</p>
<p>みなみ町</p>	<p>国道293号からコミセンに入るところの案内看板が分かりにくいので、改善してほしい。</p>	<p>協議会長を通じてお願いしていただくこととなります。</p>

## 北 犬 飼 地 区

開 催 日：平成30年11月12日（月）

開催場所：北犬飼コミュニティセンター

参加議員：石川さやか、市田登、増淵靖弘、横尾武男、鰐原一男、大島久幸

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
松原	<p>市民が安心してボランティアなどの活動を行えるよう、行政の方で事故等に備えた補償制度を整備してほしい。</p>	<p>地域における互助・共助は今後ますます大切になってくるので、そういった地域の活動における十分な補償制度が必要だと感じている。市でも対応すべく検討しているようなので、議会からも後押ししたい。</p>
池の森	<p>花木センターの振興・活性化について、施設は現況のままなのか。いちごの摘み取りもやっているが、今のままでは花木センターで何をやっているのか分からない。</p> <p>以前、道の駅にするという話が議会に出ていなかったか。</p> <p>農産物で市は「いちご、いちご」と力を入れてPRしているが、その農産物はどこに行けば買えるのか。市外から来た人にはどこで売っているのか分からない。そういう面でも活性化させてもらいたい。</p>	<p>ある程度資金を投入しないと売り上げに結び付かないと思います。また、現況では、「さつきなどを売るところが一番奥にある」「駐車場から遠い」、また、「外からは施設の様子が分からない」などの課題があり、活性化させるためには大胆な変革が必要だと感じています。</p> <p>道の駅の話はありません。</p> <p>農産物のPRや花木センターの活性化については、農林業活性化特別委員会や環境経済常任委員会の中で調査研究を重ねてきました。私たち議員も花木センターを何とかしなくてはならないと思っていますので、引き続き取り組んでいきます。</p>
深津	<p>政務活動費について、平成29年度の支出内訳は調査旅費が半分以上を占めるが、どんな調査研究を行ったのか。</p>	<p>会派ごとにテーマを決め、それに関して先進的な取組を行っている自治体等への視察調査を行っています。</p>
池の森	<p>地元の池の森小学校は児童が18人しかいない。人口減</p>	<p>少子化は重要な問題です。人口が増えている事例を見ると、</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>少は切実だ。他の地区もいずれ同じようになる。何がネックなのか。何か策を考えてほしい。数字を出さないと住民は納得しない。私たちの池の森小学校はどうになってしまうのか。1名でも2名でも増やす策はないのか。</p>	<p>働き口と子育てしやすい教育環境が整備されています。先進事例を調査研究しながら、行政も議会も一丸となって少子化問題にアプローチしていかなければなりません。これがいいという答えはありませんが、成功例を見ながら変えていく柔軟な姿勢も必要です。議会で議論し、執行部にも提言していきます。</p>
<p>上石川</p>	<p>テレビで「特別養子縁組制度」についてやっていた。少しでも人口増加になると思うので、議会で検討してほしい。</p>	<p>今までにない発想なので、参考にさせていただきます。</p>

## 北 部 地 区

開 催 日：平成30年11月13日（火）

開催場所：市民情報センター

参加議員：鈴木毅、加藤美智子、鈴木敏雄、小島実、湯澤英之、関口正一、  
谷中副議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
上材木町	議会報告会に出席する議員の編成について、一人くらい地元のことを分かっている議員が入っていた方がいいのではないか。	「広く市全体を見る」ということで、敢えて地元の議員は入れない編成でやっていますが、次回に向け、広報広聴委員会で十分検討させていただきます。
上材木町	議員定数について、人口減少・高齢化が進展していることから、22ぐらいが妥当だと思う。	現在、議会改革特別委員会で議論しているところです。
睦町	平成28,29年度も防災をテーマとして議会報告会が開催されたが、そこで出された意見が実際にどのように市の政策に反映されたのかが見えない。具体例を示してもらいたい。	市全体の防災マップは作成されているが、もっと詳細な地区別の防災マップを地域住民で話し合っ作成しているところもあります。
睦町	防災マップについて、睦町、文化橋、上田町の辺りは避難場所がない。他にも防災マップにある避難場所の記載が不適なところがある。	当該地域の避難場所は情報センターになっていますが、黒川の浸水想定区域に入っており、浸水時は避難することができません。地域で避難する場所がないというのは、大変なことだと思いますので、持ち帰りよく確認させていただきます。
睦町	川底浚いをやってほしいと機会があるたびに言う。管轄が市ではないのは分かるが、市議会の皆さんにも頑張って訴えてほしい。	県の方でも優先順位や予算の都合があるようですが、私たち議会からも引き続き訴えていきます。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
文化橋町	<p>文化活動交流館の外壁が朽ちている。プレートには「平成15年」とあり、意図があつて古くなってから多大な費用をかけて交換するのかと思ってしまう。塗装などために手入れすれば低予算ですむのではないか。</p>	<p>現地を確認して、必要な要望は市に届けたいと思います。</p>
千手町	<p>新庁舎整備ついて、現在の進捗状況と今後議会としてどんな風にして対応してゆくのか、教えてほしい。</p> <p>未だに、場所のことを問題にする声が聞こえてくるが、市民としては使い勝手の良い新庁舎ができるよう望んでいる。</p>	<p>現在、実施設計に入っており、議会からも会派ごとに意見・要望を提出しています。</p> <p>議会全体としては、「市民が一番使いやすい庁舎を整備する」という方針で向かっています。</p> <p>《追加コメント》</p> <p>整備費用について、当初は合併特例債の活用を検討していましたが、現時点においては市町村役場機能保全に係る起債と庁舎建替えのための基金で整備することで進めています。</p>
御成橋町	<p>住宅地の中にある公園の除草について、市に聞くと、「予算がない。地域のみなさんでやってほしい。」と言われるが、小さい公園も市で管理してほしい。</p>	<p>民間業者が開発した住宅地の公園は、地域住民による管理が基本になります。しかしながら、住民が除草をずっとしてゆくことは困難でしょうから、議会の方でも改善策を検討したいと思います。</p>
御成橋町	<p>戸張町内の道路で北小の通学路にもなっているところ(市道5113号線)が、行き交うのに狭すぎて子どもたちが通学するのに危険な状態である。以前から市に訴えているが、どうなっているのか調べてほしい。</p>	<p>現地を確認します。</p> <p>《追加コメント》</p> <p>平成30年11月19日に現地確認しました。市の所管課に確認の上、所要の対応を講じるよう求めていきます。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
御成橋町	大学誘致の考えはないか。	高校生との意見交換会でも、「大学や専門学校ができないか」という意見が上がりましたが、大学の母体そのものが少子化に悩んでいる現状では難しい状況です。
御成橋町	准看護学校の敷地内の防犯灯が老朽化してそのままになっている。御成橋町の所管にはなっていないので、どこで対応すべきものなのか。	現地を確認します。 《追加コメント》 平成30年11月19日に現地確認しました。市の所管課に確認の上、所要の対応を講じるよう求めています。

## 西大芦地区

開催日：平成30年11月13日（火）

開催場所：西大芦コミュニティセンター

参加議員：石川さやか、市田登、増淵靖弘、横尾武男、鰐原一男、大島久幸

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
草久	<p>議会報告会の実施方法に変更の余地があるのではないかと。出された意見に対する回答がない。例えば昨年は防災に関する意見が出たが、それに対する説明が抽象的で、きちんとした回答がなされていないように思う。</p>	<p>《追加コメント》 議会報告会でいただいた意見や要望については、政策調査研究委員会で検討の上、執行部に提言していますが、それに対する回答は求めない形にしています。</p>
草久	<p>ホームページを開設している議員が少ない。開設している人も、頻繁に更新をしている人もいれば、選挙後そのままの人もいる。メールアドレスを公開していない人もいる。今後どうしていくのか。</p>	<p>ホームページの活用やメールアドレスの公開は議員の自己責任で対応しており、インターネットを活用する者、足で稼ぐ者、それぞれのスタイルでやっています。 一方、議会全体としての取組については、開かれた議会を目指し、市のホームページやYouTubeを活用して発信しています。</p>
上大久保	<p>子育て支援について、経済面は充実してきていると思うが、ソフト面も充実させて欲しい。特に学童は本来6年生まで通えた方がいい。誰もいない家に帰って一人で過ごすことは問題。うちの孫は西小で、「狭くなったので増築したい」と言ったら、「子どもが減るのに増築する必要はない」と行政の方から言われた。そういうところから子どもの育</p>	<p>行政サイドでの考え方が主で、実際にはかゆいところに手が届く政策になっていない部分もあります。子育て真っ只中の方やこれから子どもを持つ人の声を聞くべきと考えています。議会内でも議論し、市長に強く要望していきます。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	てにくさを感じ、子どもを産まなくなってしまうと思う。	
草久	古峰ヶ原街道は途中で行き止まりになっている。その先の栗野の方でも同じようで、観光客が回遊するルートが遮断されている状況はもったいない。早急に開通させることで、観光が発展し人口減少の歯止めにもなると思う。古峰ヶ原の方はテレビの影響もあり賑わっているようだが、それが栗野の方にも流れるように検討されたい。	地元の方の想いも理解できる場所です。貴重なご意見として、執行部に訴えていきます。
草久	西大芦小の閉校後、お弁当作りだけは活発にやっているところだが、ある業者が2,3階を利用して宿泊施設をやりたいということで、考え方を示してきた。自分たちも要望を示したが、地元としては「業者に入ってもらい、雇用も創出してほしい」と考えている。実現するか分からないが、近いうちに市とも協議する予定なので、議会としてもバックアップしてほしい。	とても将来性のある話だと思います。市との協議結果も踏まえ、議会としてもできる限りの支援をしていきたい。
草久	今後ますますひとり暮らしの高齢者が増えていくと、施設入所やお墓、財産管理などの問題に対応しきれない事態になる。そういった問題を行政が一括して支援することで、複雑化するのを未然に防ぐことができると思う。	少子高齢化の問題は構造的な対策が必要と感じており、そういった手法も研究する価値があると思います。
草久	リーバスで買い物に行こうとしても、高齢者にとって両	高齢者がバスで買い物に行くのは大変なことだと思います。



発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>手に荷物を持ったままバスに乗るのは困難。話を聞くと、「手押し車ごとバスに乗れたらいいのに」という声が多く聞かれる。何とか対応してもらえないか。</p>	<p>予算の問題もありますが、バスに昇降機が付けられないか、今後要望していきたい。</p>
草久	<p>現在、地区の中学生は10人くらいしかおらず、スクールバスで西中に通っている。やがて、みんな不便さを感じて地元を離れてしまう。一人でも残ってほしいが、地元に働く場所がない。教育費の無償化を高校まで広げるなど親の負担をいろいろ減らして、地元に残ってもらう意識付けをしてほしい。一つでも新しい芽生えを残すよう切実に考えてもらいたい。</p>	<p>地元に仕事がなければ街中に、鹿沼になれば都会に、出ていってしまうという負の連鎖を断ち切るには、働き口を確保しなければなりません。貴重な意見として受け止め、産業の育成なども含め総合的に対策を考えていきたい。</p>
草久	<p>いろいろな施策を展開しているのは分かるが、例えば医療費や幼児教育・保育の無償化など経済面ばかり支援しても、子どもが増えることにつながらないのではないか。もっと根本的な対策が必要だと思う。</p>	<p>やはり子育てに対する安心感や子どもを産む動機付けがないと結果に結びつきません。もっと当事者である若い世代の意見に耳を傾け、さらなる提言をしていきたい。</p>
草久	<p>いくら子育て支援に関する施策を行っても、結婚しない人が増えているのはなぜか。人の考え方や気持ちは施策以前の問題であり、何か大切なものがあるのではないかと思う。</p>	<p>《追加コメント》 貴重なご意見ですので、議会として検討していきたいと思います。</p>
上大久保	<p>旧西大芦小跡地の利用に漕ぎつけるのに3年かかった。これから廃校が増えると思う</p>	<p>議会も一緒に悩んで、法律的なアドバイスもできるようにしたい。</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
	<p>が、それを有効活用するには法手続きなど地域住民だけでは困難な部分もあるので、近隣の議員が相談に乗るなど助けになってもらいたい。</p> <p>閉校した学校が活用されれば一人でも二人でも雇用が生まれて、そこが生活の基盤となり、人口流出が少しでも防げたらと思う。</p>	
草久	<p>新庁舎整備について、未だに「庁舎位置がどうだ」などとやっているのか。平成30年に下野市と那珂川町に視察に行っているようだが、まだ視察しているような段階なのか。</p>	<p>新庁舎の建設位置は現庁舎位置に決まっています。現在、予定どおり実施設計が進められています。進捗状況については広報かぬまで逐次周知されています。</p>
草久	<p>夏場や紅葉の時期に多くの人が訪れ、交通に支障を来している。幟を立てたりなどいろいろの対策をやっているが、マナーが悪く、ゴミ拾いが大変。地元の人はとても迷惑している。警察も含めて徹底した指導をしてもらえないか。こんなことでは住む人がいなくなり、年寄りばかりになってしまい、草刈りもゴミ拾いもできなくなってもっと大変になる。行政の職員に体を張ってもらいたい。人口が減っても議員や職員は減らさないのだから、掃除の手伝いくらいしてもらいたい。道路清掃の日に各地区1人くらい職員にも手伝ってほしい。</p>	<p>マスコミ効果で西大芦がにぎわってきたのでいいイメージしかなかったが、その反面、地元で困っているのも理解しました。私たち議員にどんなことができるか、よく検討して執行部に伝えたい。</p>

## 永 野 地 区

開 催 日：令和元年5月13日（月）

開催場所：永野コミュニティセンター

参加議員：島田一衛、佐藤誠、大貫毅、赤坂日出男、大貫武男、大島議長

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
下永野	鹿沼市の60歳以上の職の幅が狭いと感じる。ハローワークに通い、製造業を中心に25社程度紹介されたが、すべて断られた。これについてどう思うか。	年金受給開始年齢までの職を確保することは重要な問題です。ハローワークと市が連携して職業相談に取り組んでいる市もあるようであり、今後考えていくべき課題だと思います。
下永野	現在、永野小学校は児童が20名しかいない。教育活動も満足にできない状況。このままだと人口がどんどん減って、冠婚葬祭もできず、いずれ限界集落になる。中山間地域はやはり農林業だと思う。それで生活していけるよう、農林業の施策を重点的にやっていって欲しい。	農林業の活性化は喫緊の課題と理解しています。森林環境譲与税の活用、マカ等の中山間地域作物の振興、野生鳥獣害対策など、各種施策について地域の皆さんと相談し、解決策を見つけていきたい。
上永野	永野の道路12キロメートルのうち与洲部分は4キロメートル。そのうち、片側一車線で整備されているのは200メートルしかない。県道の整備についても、検討してもらいたい。	要望としてお聞きしておきます。
上永野	以前、新駅構想があったが、駅は人が集う場所なので、新庁舎整備が一段落したら検討してはどうかと思う。	要望としてお聞きしておきます。
上永野	栃木市・佐野市・足利市・小山市には大学・短期大学があるが、鹿沼にはない。大学誘致により少しでも人口減少に歯止めがかかると思う。	要望としてお聞きしておきます。

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
上永野	<p>住民から地域によっていろいろな困りごとが出ると思うが、住民の意見をどういうふうにも市政に届けているのか。</p>	<p>この報告会もそうだが、各議員が様々な会合に出席して地域住民と話し合いをさせてもらい、その中で住民の意向というものを吸い上げた上で、執行部に対して一般質問等で要望や提案をしたり、或いは担当課に出向いて説明や対策を求めたりしています。</p>
下永野	<p>住民投票について、どのような考えを持っているか。どういう状況になったら、住民投票をやるのか。</p> <p>一部の団体が実施した新庁舎位置に関する住民アンケートにおいて一つの結果が出ているにもかかわらず、議員の皆さんは私たち市民の代表でありながら、それを無視した。「市民の意見を市政に届ける」などと言って、逆のことをやっているのではないかと疑問を持っている。</p>	<p>住民投票は、地域における問題を解決するための選択肢の一つですが、まずは、市民から選ばれた議員が、議会において議論を尽くし、合意を目指すことが最善と考えます。</p> <p>住民投票は、「○か×か」を問う形になるので、「説明や情報開示が尽くされないと、十分な理解のないまま選択することになる」、「地域を分断してしまう」などのデメリットも考えられます。</p>
上永野	<p>永野地区には議員が一人もおらず、「地域住民の声を吸い上げる」チャンスがないというのが現状。本日、永野地区の議会報告会に臨むに当たり、各出席議員が持った永野に対する提案や所感を聞きたい。</p>	<p>地域の柱である農業や林業に重点を置いた施策が必要と感じます。</p> <p>蠟梅や蕎麦、野州麻など良いものがたくさんあるので、それらの地域資源を生かすことで、少しでも人口減少に歯止めを掛けられると思います。</p> <p>ないものねだりではなく、あるものをいかにして発展させていくかが大事だと思います。</p> <p>資源や人が豊富な地区なの</p>

発言者地区名	発言要旨	回答要旨
		<p>で、地域の課題を皆で力を合わせて考えることで解決につながると思います。</p> <p>地域の具体的・個別的な問題を突き詰めて話し合い、声を挙げていくことが大切と思います。</p> <p>本日の出席議員は全員栗野地区外の者ですが、「議員一人ひとりが、市全体を理解しなくてはならない」という考えがありますので、ご理解ください。</p>
下永野	<p>分町の問題には触れて欲しくなかった。あれで永野はバラバラになった。せつかくここまで「何とか修復しよう」と頑張ってきた人もいるのに、またぶり返しになってしまうことは避けたい。</p> <p>一部の意見だけで、「永野地区はこうだ」と捉えるのではなく、多様な視点で見てもらいたい。</p> <p>永野に来るときは、永野の住民の気持ちというものを勉強してから来てほしい。</p>	<p>《追加コメント》</p> <p>このご意見については特に回答を求められませんでした。が、議会として真摯に受け止め、今後の活動に生かしたいと思います。</p>